



Sentinel HASP®

PRODUCT BRIEF

あらゆるソフトウェアディストリビューションに対応するために、
新しく生まれ変わったソフトウェアライセンス管理ソリューション

Sentinel HASP®

仮想ストレージ、クラウド、SaaS、ネットワークの力で
日々進化するソフトウェア流通方式。

ソフトウェアベンダにおいては、これらの方式に対応したソフトウェアの
不正使用を防止するライセンス管理メソッドの構築が急務です。

Sentinel HASPは、アプリケーションの実行ライセンスを、
ハードウェア (USBキー) ロックと、アクティベーションによる
ノードロックのどちらからでも認証可能な
最先端のSRM (ソフトウェア著作権管理) ソリューションです。

直感的なGUIを使用して、アプリケーションのプロテクト、
ライセンス設定/管理、ユーザ管理を一括して行えるツールキットに、
新たに、ユーザライセンス管理機能、レポート機能をサポート。

ユーザのニーズをリアルタイムに把握でき、

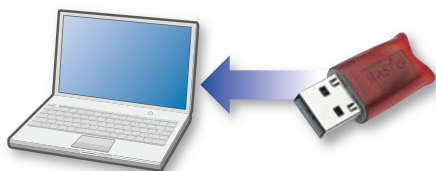
新製品や新機能をユーザへデリバリーするタイミングを逃しません。

また、ライセンスソフトウェアを供給することで、企業コンプライアンスが向上し、
市場でのプロダクトの優位性を確保してビジネスの成長につながります。



ライセンス認証方式

USBキーを接続



Sentinel HASP HL

ハードウェアキーを実行マシンに接続し、本体に内蔵された暗号化ロジックにより、暗号化されたアプリケーションのバイナリコードを復号化してソフトウェアのライセンス認証を行います。

アクティベーション



Sentinel HASP SL

実行マシンにアクティベーションコード (プロダクトキー) を入力し、インターネット経由でライセンス認証およびアクティベーションを行います。アクティベートされたマシンにソフトウェアのライセンスはノードロックされ、そのマシンでのみ使用可能になります。

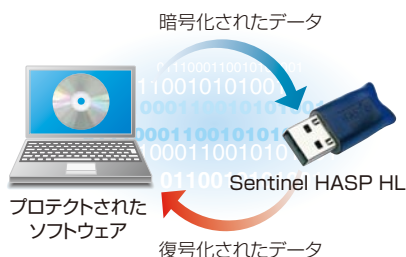
Sentinel HASP HL

ハードウェアベースのプロテクションキー



Sentinel HASP HLは、Sentinel HASPのハードウェアベースのプロテクションおよびライセンスングコンポーネントです。

コンピュータのUSBポートに接続するプロテクションキーを使用し、暗号化されたソフトウェアに実行ライセンス与え、違法コピーや不正使用からソフトウェアをプロテクトします。



すべてのモデルに、128bitAES暗号アルゴリズムに基づいた暗号化プロセッサをチップ・オン・ボードで搭載し、プロテクト (暗号化) されたソフトウェアの実行時に、ソフトウェアとの間にセキュアな通信チャネルを確立し、ハッキング不可能なリンクを生成します。

使用回数や、使用期限、社内ネットワーク上での使用台数などのライセンスングを実現するために、ライセンスパラメータを格納するためのメモリを内蔵し、アラジン独自のLicenseOnChip™技術によって、ライセンス情報はハードウェアベースでセキュアに保たれています。

| Sentinel HASP HL仕様 | |  |  |  |  |  |  |  |  |  | |
|------------------------|-----------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---------------------------|
| | | Basic | Pro | Max | Net | Time | NetTime | Drive | Express Card | MaxMicro | |
| セキュリティ | シリアルNo | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 128bitAES暗号化アルゴリズム | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | RSA署名付きライセンスリモート更新 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ライセンスング | 設定可能なアプリケーション数 | 1 | 39 | 231 | | | | | | | |
| | 使用回数設定 | — | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 使用期限設定 | — | — | — | — | ○ | ○ | — | — | — | |
| | ネットワーク同時利用台数設定 | — | — | — | ○ | — | ○ | — | — | — | |
| | 内蔵クロック(バッテリー寿命) | — | — | — | — | ○(約4年) | ○(約4年) | — | — | — | |
| メモリ | R/Wメモリ | — | 112バイト | 4Kバイト | | | | | | | |
| | 読み出し専用メモリ | — | 112バイト | 2Kバイト | | | | | | | |
| | データ保持期間 | — | 約10年 | | | | | | | | |
| | 書込み可能回数 | — | 100万回以上 | | | | | | | | |
| フラッシュメモリ | サイズ | — | | | | | | | 2Gバイト/4Gバイト | — | — |
| | 書込可能回数 | — | | | | | | | 10,000回以上 | — | — |
| | 読出速度 | — | | | | | | | 12Mバイト/秒 | — | — |
| | 書込速度 | — | | | | | | | 5Mバイト/秒 | — | — |
| サポートプラットフォーム (実行環境) | Windows | 32bit | 2000 SP4, XP SP3, XP Embedded, Server 2003 R2 SP2, Server 2008 R2, Vista SP2, 7 | | | | | | | | |
| | | 64bit | XP SP2, Server 2003 R2 SP2, Server 2008, Vista SP2, 7 | | | | | | | | |
| | Linux | x86 | RedHat EL5 SP1, SuSE ES 10 SP1, Ubuntu Desktop 8.04 | | | | | | | | |
| | | x86-64 | RedHat EL5 SP1, SuSE ES 10 SP1, Ubuntu Desktop 8.04 | | | | | | | | |
| Mac | OS-X 10.4, 10.5, 10.6 | | | | | | | | | | |
| サポートプラットフォーム (開発環境) | Windows | 32bit | XP SP3, Server 2003 SP2, Server 2008 R2, Vista SP2, 7 | | | | | | | | |
| | | 64bit | XP SP2, Server 2003 SP2, Server 2008 R2, Vista SP2, 7 | | | | | | | | |
| | Linux | x86 | RedHat EL5 SP1, SuSE ES 10 SP1, Ubuntu Desktop 8.04 | | | | | | | | |
| | Mac | OS-X 10.4, 10.5, 10.6 | | | | | | | | | |
| 仕様 | 本体カラー | ブルー | パープル | グリーン | レッド | ブラック | レッド | グリーン | シルバー | スケルトン | |
| | 外装ケース素材 | Lexan 500R | | | | | | | CYCOLOY C6600 | ステンレス (SUS304) | GE Lexan 940A |
| | コネクタ | USB タイプA | | | | | | | | Express Card/34 | USB |
| | 保存可能な温度/湿度 | 0°C~70°C/0~100%(結露なきこと) | | | | | | | | | |
| | 消費電力(動作電力/待機電力) | 50mA/0.5mA以下 | | | | | | | 200mA/ 0.5mA以下 | 25mA/ 0.5mA以下 | 30mA/ 0.5mA以下 |
| | 寸法(全長×全幅×高さ) | 40.5mm×16mm×8mm | | | | | 52mm×16mm×8mm | | 74.2mm× 11.3mm× 28.6mm | 75mm× 34mm× 5mm | 15.5mm× 19.2mm× 8mm |
| | 重量 | 4.4g | | | | 5.8g | | 14.4g | 15g | 2.03g | |
| | 準拠している 基準など | USB | USB-IF | | | | | | | | |
| | 安全基準 | CE, UL 1950 | | | | | | | | | |
| | 環境基準 | ISO 14001, RoHS, WEEE | | | | | | | | | |
| 品質基準 | ISO9001, ISO2000 | | | | | | | | | | |
| 保障期間(物理的な破損を除く) | 1年間 | | | | | | | | | | |

Sentinel HASP SL

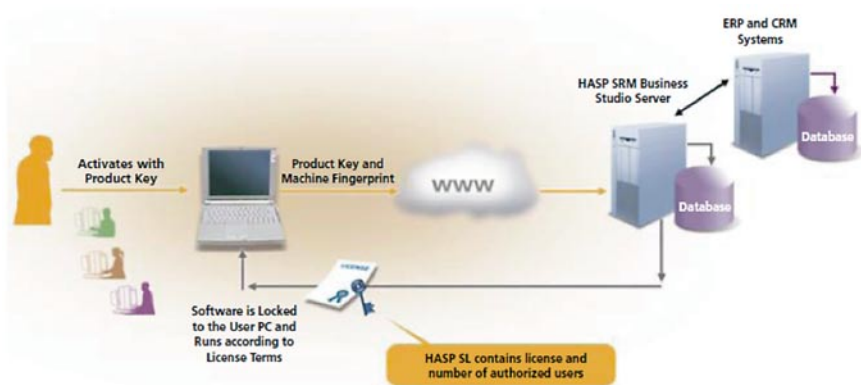


オンライン認証による ソフトウェアアクティベーションキー

Sentinel HASP SLは、Sentinel HASPのソフトウェアベースのプロテクションおよびライセンスングコンポーネントです。
128bitAES暗号アルゴリズムに基づいた強固なプロテクションをソフトウェアベースで実現します。

ソフトウェア認証方式

エンドユーザは、ソフトウェアの実行マシンに、ソフトウェアベンダから提供されたプロダクトキー（アクティベーションコード）を入力します。
Sentinel HASP認証サーバ（アクティベーションサーバ）へオンラインでライセンス認証が行われ、正規ライセンスと認証された場合のみ、ソフトウェアのアンロックキーが実行マシンにインストールされアクティベートされます。



アクティベートされたマシンは、ハードウェアキーが接続された場合と同様にノードロックされ、ソフトウェアが実行可能な状態になります。

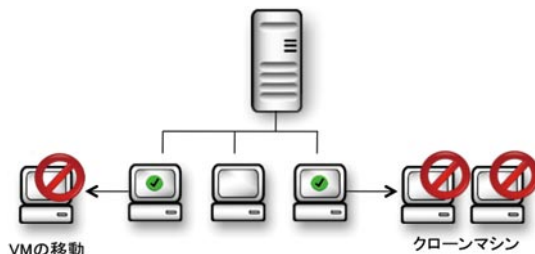
ライセンス認証の間は、ユーザマシンとアクティベーションサーバ間の通信は、SSL (Secure Socket Layer) ベースの通信チャンネルで保護されています。

HASP SLを使用した場合、プロテクションキーのESD（電子ソフトウェア配布）が可能になり、物流コストが削減され、ソフトウェアのダウンロード販売にも対応できます。

トライアル版をソフトウェアキーでプロテクトして配布し、製品版をハードウェアキーでプロテクトするなどのビジネスモデルが構築できます。

VM環境サポート

実行マシンのCPU-IDなどの固有情報から構成される「フィンガープリント」を形成し、VMのクローンマシンや移動したマシンでのライセンスの不正使用を防ぎます。



SaaSアプリケーションサポート

「Sentinel HASP SaaS Pass Webサービスモジュール」との組み合わせにより、アクティベーション機能を利用した実行マシンのライセンス認証を行い、SaaSアプリケーションのユーザライセンス管理が行えます。

| Sentinel HASP SL仕様 | | | |
|------------------------|--------------------|-------|---|
| セキュリティ | シリアルNo | | ○ |
| | 128bitAES暗号化アルゴリズム | | ○ |
| | RSA署名付きライセンスリモート更新 | | ○ |
| ライセンスング | 設定可能なアプリケーション数 | | 8000 |
| | 使用回数設定 | | ○ |
| | 使用期限設定 | | ○ |
| | ネットワーク同時利用台数設定 | | ○ |
| メモリ | R/Wメモリ | | 4K/バイト |
| | 読み出し専用メモリ | | 2K/バイト |
| サポートプラットフォーム (実行環境) | Windows | 32bit | 2000 SP4, XP SP3, XP Embedded, Server 2003 R2 SP2, Server 2008 R2, Vista SP2, 7 |
| | | 64bit | XP SP2, Server 2003 R2 SP2, Server 2008, Vista SP2, 7 |
| | Mac | | OS-X 10.4, 10.5, 10.6 |
| サポートプラットフォーム (開発環境) | Windows | 32bit | XP SP3, Server 2003 SP2, Server 2008 R2, Vista SP2, 7 |
| | | 64bit | XP SP3, Server 2003 SP2, Server 2008 R2, Vista SP2, 7 |
| | Mac | | OS-X 10.4, 10.5, 10.6 |
| | | | |
| 準拠している基準 | 品質基準 | | ISO9001, ISO2000 |

HASPプロテクション手順



Step 1

ソフトウェアのプロテクト

HASP SRM 開発キットのプロテクションツールを使用してソフトウェアをプロテクトし、ソフトウェアとHASP SRM プロテクションキーとの間のリンクを作成します。ソフトウェアには「デベロッパごとにユニークな情報」が盛り込まれ、バイナリコードレベルで暗号化されます。



Step 2

プロテクションキーの選択

プロテクションを解除するためのキー（プロテクションキー）を、ハードウェアキー（USBキー）、または、ソフトウェアアクティベーションキーから選択します。すべてのプロテクションキーに、プロテクション時にソフトウェアに含まれた「デベロッパごとにユニークな情報」が含まれており、この組み合わせにより、対象となるソフトウェアが実行可能になります。



Step 3

ライセンスング

HASP SRM開発キットのライセンスングツールを使用して、プロテクションキーへライセンスを設定します。ハードウェアキー、ソフトウェアアクティベーションキーのどちらにも同様なライセンスングが行えます。

ソフトウェアのライフサイクル管理

Sentinel HASPは、ソフトウェアのライセンスングにプロテクションスキームが一切依存しないデザインを採用しています。

アプリケーションのプロテクトと、異なるライセンスパッケージのためのライセンス設定は、完全に分離して作業が行えるほか、ライセンスに応じてプロダクトを多数設計する必要などがなく、開発コスト、作業コストを削減できます。

また、ソフトウェアのライセンスング、ユーザ管理、配布後のレポートを専用のGUIベースのツールで一括管理。ベンダがエンドユーザのライセンス利用状況を把握でき、バージョンアップや、使用期限による更新などのタイミングを逃しません。

プロテクションとライセンスングの分離

Sentinel HASPで利用できるライセンスングパラメータは、すべてプロテクションキー内のセキュアなメモリへ設定されソフトウェア側には依存しません。つまり、ライセンスングのためにプロテクションのやり直しや、複数のモジュールを用意する必要がありません。

異なるライセンスを持ったプロテクションキーを配布することで、評価版の配布や、機能拡張による課金など、様々なライセンスモデルの構築が可能です。

レポート機能

17種類のレポートテンプレートを利用し、ライセンスキーの配布履歴や、配布後のトラッキングなどを、専用のGUIで確認できます。

ディストリビューション・チャンネル

ベンダが設定したライセンスキーを代理店から発行できるインターフェースをサポートし、ソフトウェアの代理店販売にも対応。

ライセンスのリモート更新

リモートアップデートシステム（RUS）を利用して、すでにエンドユーザに配布したプロテクションキーのライセンス設定をリモートからセキュアに更新することができます。

リモートアップデートの手順はすべて暗号化され、RSAデジタル署名を利用したアップデートの認証を自動的に行います。

クロスプラットフォーム

Windowsはもちろん、主要なLinuxディストリビューション、MacOS-Xなどのクロスプラットフォーム環境での動作をサポート。

Java / J2EEのEnvelopeでのプロテクション

Java Enterprise Edition (J2EE WAR files) で作成されたプログラムのプロテクションをTomcat 6.x Web サーバ上でサポートしました。

シンボルおよびコードの解析を困難し、Java Reflection API の実行レベルでのプロテクションと外部クラスをサポートしました。



HASP 開発キット 無料申込み受付中！

お申し込みはこちら → <http://jp.safenet-inc.com/>

HASP SRM 開発キットは無料です。

日本セーフネット株式会社ホームページにアクセスしてください。HASP SRM 開発キットは、ソフトウェアにHASPを組み込むために必要なすべてのツールを含んだDVD-ROM、マニュアル、HASP HL Demoキー（トライアル用のハードウェアキー）で構成されており、HASP SRMの全ての機能を評価することができます。

HASP

カタログに掲載されている内容は、予告なく変更される場合があります。



www.safenet-inc.com

日本セーフネット株式会社
東京都港区新橋6丁目17番17号 御成門センタービル 8F
URL: <http://jp.safenet-inc.com/>
e-mail: jp-info@safenet-inc.com
TEL: 03-5776-2751 FAX: 03-3436-2236

記載されている会社名、製品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。カタログに掲載されている内容は、予告なく変更される場合があります。
©2010 SafeNet, Inc. All rights reserved. SafeNet and SafeNet logo are registered trademarks of SafeNet. All other product names are trademarks of their respective owners.